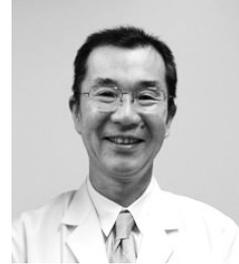

第28回 臨床微生物迅速診断研究会総会 開催に当たって



総会長 宮本 比呂志
(佐賀大学医学部微生物学分野)

第28回臨床微生物迅速診断研究会総会の開催にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、平素より本研究会の活動に格別なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

第28回総会を福岡市の博多湾を望むシーサイドももち地区で開催します。福岡市での開催は平成13年以来2回目となります。

本研究会も3年前に第25回というひとつの節目を越しました。新たな四半世紀へのスタートから3回目の総会となります。今回テーマとして、「不易流行—迅速診断のこれまでとこれから—」としました。迅速診断の「時を超えた真理」(不易)と「たえず新しさを追求する」(流行)に沿ってプログラムを検討致しました。

特別講演といたしまして、江崎孝行先生に微生物迅速診断検査の現状と今後についてご講演いただきます。また、本研究会を28年前に立ち上げられ、昨年まで研究会の会長を務められた岡田淳先生には、会長退任講演として迅速診断研究会のこれまでの歩みと今後への期待についてお話をいただきます。教育講演Ⅰでは菅原和行先生からLAMP法を用いた迅速CRE分析の試みについて、教育講演Ⅱでは齋藤光正先生からレプトスピラ症とその診断法についてお話をいただきます。シンポジウムでは社会人大学院生として基礎研究を行い、医学博士を修得された3人の先生がたに企業学術担当、臨床検査技師、そして衛生研究所職員の立場から、それぞれお話をいただきます。若い会員の皆様の刺激になればと期待しています。また、ベーシック・レクチャーとして関係企業からの、一般演題として会員の皆様からの研究成果も報告して頂きます。

古くからアジアとの交易が行われ、黒田藩の城下町として栄えた福岡市は九州の政治、経済、文化、ファッションの中心として賑わうエネルギーな街です。人口は150万人を突破し、ますますパワーアップしています。博多人形、博多曲物、博多独楽など、職人技が光る伝統工芸品をはじめ、博多ラーメンやもつ鍋、水炊きなど、福岡はグルメシティーでもあります。一口サイズの博多ぎょうざや玄海灘で捕れる新鮮な魚料理など地元グルメも盛りだくさんです。総会への参加とともに、福岡市をご堪能いただければと思います。

末筆になりましたが、本研究会総会の開催に際しまして、ご指導ご鞭撻いただきました先生方、共催協賛いただきました関係企業の皆様に心より御礼申し上げます。

本研究会と会員の皆様の今後の益々のご発展を祈念し、開催の挨拶とさせていただきます。

ご 案 内

■参加者の方へ

1. 参加登録は7月2日(土)午前8:30より受付します。事前登録はありません。
受付は福岡国際医療福祉学院ももち国際ホール2階ロビーにて行います。
2. 参加費は会員、非会員とも3,000円です。当日、総合受付でお支払いください。
引き換えにネームプレート(領収書)等をお渡しします。
学生(大学院生を含む)は無料です。学生証をご提示ください。
3. 会場内では、ネームプレートを必ず着用してください。
4. 平成28年度会費納入、新会員登録も受付します。
5. 意見交換会費は4,000円です。当日、総合受付でお支払いください。

■演者の方へ

1. 一般演題、シンポジウム等の特別企画は全て口演形式で行います。
2. 発表時間の60分前までに受付をお願いします。
3. 一般演題は1題につき発表7分、討論3分です。
時間を厳守し、発表にあたっては、座長の指示に従ってください。
4. シンポジウム等の特別企画の時間配分は司会者に一任します。
各演者は、与えられた講演時間の厳守をお願いします。
5. 全ての発表は液晶プロジェクターを使用します。使用するプロジェクターは1台です。

〈Windows〉

1. パソコンのOSは「Microsoft Windows 7」で、
アプリケーションは「Microsoft Power Point 2010」を使用します。
フォントは文字化けを防ぐために下記の標準的フォントで作成してください。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語：Century、Century Gothic、Times New Roman、Arial
2. 発表スライドデータは、USBメモリーまたはCD-Rで持参のうえ、30分前までにPC受付までお越しください。なお、Windows以外のOS(MacOSなど)で作成されたデータの動作保証はしかねますのでご了承ください。
ファイル名は演題番号、演者氏名としてください。(例：12迅速太郎.pptx)
データは終了後に事務局にて責任を持って削除いたしますのであらかじめご了承ください。

〈特別企画（特別講演、教育講演、シンポジウム、共催セミナー）の演者の方へ〉

特別企画（特別講演、教育講演、シンポジウム、共催セミナー）のご講演につきましては、ご持参のパソコンを使用されても結構です。以下の案内をご参照ください。

1. 事務局では windows 用の RGB ケーブルを用意いたします。また、Mac を使用される方は専用のコネクタをご持参ください。特殊な外部出力用コネクタが必要な場合には、専用のコネクタを必ず持参ください。
2. MacOS では、OS10.1.2以降を推奨します。
3. 動画や音声をご使用になる場合は、PC 受付センターに申し出てください。
4. 発表データは、必ずデスクトップ画面上に保存してください。
5. スクリーンセイバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
6. 本体付属の電源コードを必ずお持ちください。
7. 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータを USB メモリー 等でお持ちください。
8. 発表の際には、ご自身でパソコンを操作願います。
9. 講演30分前までには、ご自身でホール内の PC オペレーター席にて、発表データを表示の上、パソコンをお渡しください。
10. 発表後は、発表会場内の PC オペレーター席で、パソコンをお受け取りください。

■座長・司会者の方へ

1. 発表、講演開始時刻の30分前までに総合受付にて出席確認をお願いします。
2. 発表順序や口演時間の変更につきましては本部の指示に従ってください。
3. 発表、討論の時間延長がある場合は、ご配慮をお願いします。

■質疑応答される方へ

座長・司会の許可を受けたうえ、所属、氏名を明らかにしてご発言下さい。

■日本臨床衛生検査技師会 会員の方へ

当研究会総会は「関連学会」として認められています。

参加された方は各自で所属の都道府県技師会へ「自己申請書」を提出してください。(専門10点)

■日本臨床微生物学会 会員の方へ

1. 認定臨床微生物検査技師の更新単位として認められています。(3単位)
2. ICMT (感染制御認定臨床微生物検査技師) の更新単位として認められています。
(2単位、認定臨床微生物検査技師との同時更新の場合3単位)

臨床微生物迅速診断研究会誌（JARMAM）講演記録 原稿執筆要領

研究会総会後、臨床微生物迅速診断研究会誌（JARMAM）掲載のため、以下の要領で原稿の提出をお願いいたします。

1. 表紙、和文要旨（600字以内）、英文要旨（500語以内）、序文、材料と方法、成績、考察、文献、表、図の順にお書きください。
2. 表紙には、表題、著者名、所属施設、所在地（以上和英併記）、キーワード（英語 5 つ以内）、ランニングタイトル（邦文20文字、英文 7 単語以内）をお書きください。
3. 原稿は締切までに下記の編集事務局にメールで送付してください。
4. 詳細は研究会ホームページ（<http://www.jarmam.gr.jp>）の「投稿規定」をご参照ください。
5. 論文の提出がない場合は、抄録集の原稿を掲載させていただきますので、ご一報ください。
6. 原稿締切：第 1 回締切…2016年 8 月31日
第 2 回締切…2017年 1 月31日

編集事務局

西山 宏幸……………

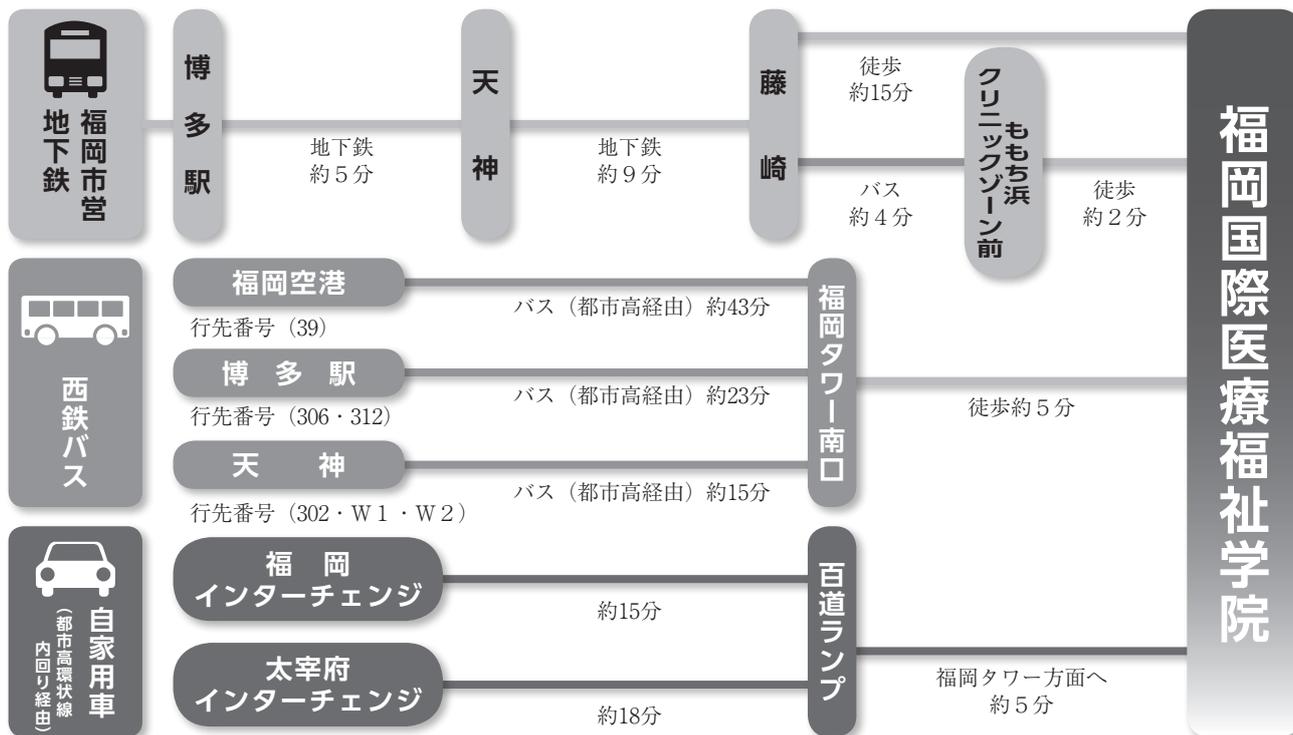
日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
phone：03-3972-8111 内線（3985）
E-mail：nishiyama.hiroyuki@nihon-u.ac.jp

会場案内 1



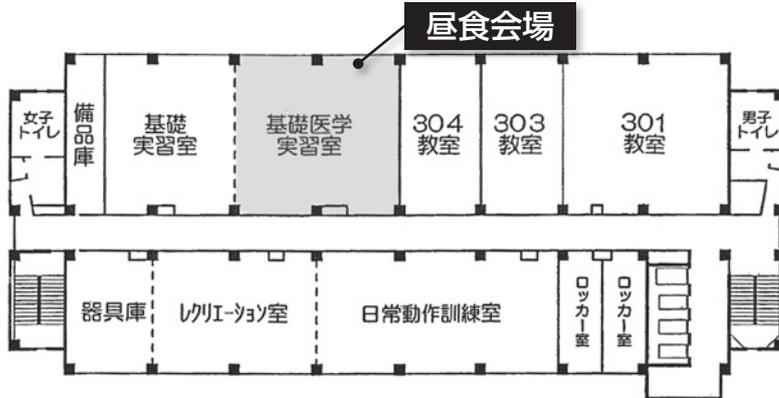
福岡国際医療福祉学院 所在地

〒814-0001福岡市早良区百道浜 3 - 6 - 40
 TEL 092-832-1166 (代) FAX 092-832-1190



会場案内 2

3 F



2 F



第28回 臨床微生物迅速診断研究会総会日程

平成28年7月2日(土)

	ももち国際ホール	廊下 (2階)	大会議室	小会議室	
8:30	受付	準備	大会議室	小会議室	
8:55	開会の辞				
9:00	ベーシックレクチャー				
10:20	一般演題 1・2	展示 (カタログのみ) クローク			講師控室
10:40	休憩				
10:50	一般演題 3・4				
11:10	教育講演 I				
11:50	休憩				
12:00	ランチョンセミナー				
12:50	休憩・食事 ※別会場に移動して食事				
13:30	総会		幹事・スタッフ 控室		
13:45	会長退任講演				
14:15	特別講演				
15:05	シンポジウム				
15:45	休憩				
16:00	教育講演 II	片付け	大会議室	小会議室	
16:40	一般演題 5・6				
17:00	一般演題 7・8				
17:20	一般演題 9・10・11				
17:50	閉会の辞				
18:30	意見交換会 福岡山王病院 5階 "レストランオーブ"				
20:30					

プログラム

平成28年7月2日(土)

開会の辞

8 : 55 ~ 9 : 00

ベーシックレクチャー (企業共催)

9 : 00 ~ 10 : 20

司会：松本 竹久 (群馬大学大学院保健学科研究科 生体情報検査科学)

1. ベーシックレクチャー I

医療データマイニングの実際

ケーディーアイコンズ株式会社 営業部

三上 道彦

2. ベーシックレクチャー II

「イムノトラップ法」による測定時間60秒の抗原検出迅速測定キット

和光純薬工業株式会社 臨床検査薬事業部

○松田 英子、樋口 照光

司会：小森 敏明 (京都市立医科大学附属病院 臨床検査部)

3. ベーシックレクチャー III

尿中肺炎球菌抗原検出キット「クイック チェイサー[®] 肺炎球菌」の評価

1) 株式会社ミズホメディター 開発部、2) 済生会川口総合病院 臨床検査科

○取井 邦明¹⁾、萩野 毅史²⁾

4. ベーシックレクチャー IV

新規酵素サイクリング法を応用した POCT

1) 株式会社タウンズ、2) 株式会社ビーエル、3) 早稲田大学

○伊藤 謙介¹⁾、松井 隆²⁾、小松 真理子²⁾、中石 和成¹⁾、渡部 聡²⁾、伊藤 悦郎³⁾

一般演題 1・2

10 : 20 ~ 10 : 40

司会：黒川 幸徳 (川崎医療短期大学 臨床検査科)

1. Microwave を用いたチール・ネルゼン染色法の検討

1) 三重大学医学部附属病院 中央検査部、2) 医療安全・感染管理部

○伊藤 優佳¹⁾、若林 真衣¹⁾、安田 和成¹⁾²⁾、戸松 絵梨¹⁾、中澤 恵子¹⁾、
中村 明子¹⁾²⁾、森本 誠¹⁾、田辺 正樹¹⁾²⁾、杉本 和史¹⁾、中谷 中¹⁾

2. 末梢血塗抹標本から微生物が確認され、菌血症の診断に至った症例の検討

1) 金沢医科大学 臨床感染症学、2) 金沢医科大学病院 中央臨床検査部

○薄田 大輔¹⁾、飯沼 由嗣¹⁾、河村 佳江²⁾、金谷 和美²⁾、森田 恵美²⁾、麻生 都²⁾

司会：藤田 直久（京都府立医科大学 感染制御・検査医学）

3. CHROMagar mSuperCARBA 培地の基礎的検討

三重大学 医学部附属病院 中央検査部

○中村 明子、伊藤 優佳、若林 真衣、安田 和成、中澤 恵子、森本 誠、田辺 正樹、
杉本 和史、中谷 中

4. 高感度イムノクロマト法によるRSウイルスキットとアデノウイルスキットの基礎的検討
と日常的応用について

越谷市立病院臨床検査科

○五十里 博美、千葉 明日香、稲垣 理絵、大久保 宏子、前田 友子、石井 直美、
吉原 靖之

教育講演 I

11:10~11:50

司会：山住 俊晃（医療法人育和会 育和会記念病院）

LAMP法を用いた迅速CRE分析の試み

(株)菅原バイオテック教育研究所

菅原 和行

(共催：栄研化学株式会社)

ランチョンセミナー

12:00~12:50

司会：永沢 善三（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

各種抗MRSA薬の特徴 ～迅速診断による治療効果の増大～

学校法人北里研究所 北里大学 感染制御研究センター / 感染制御学講座

花木 秀明

(共催：バックマン・コールター株式会社)

総 会

13:30~13:45

司会：飯沼 由嗣（金沢医科大学 臨床感染症学講座）

（藤田 直久（京都府立医科大学 感染制御・検査医学））

会長退任講演

13:45~14:15

司会：飯沼 由嗣（金沢医科大学 臨床感染症学講座）

臨床微生物迅速診断研究会のこれまでの歩みと今後への期待

臨床微生物迅速診断研究会前会長

岡田 淳

司会：村瀬 光春（四国医療技術専門学校）

微生物迅速診断検査の現状と今後

岐阜大学・研究開発・社会連携推進機構・微生物遺伝資源保存センター

江崎 孝行

（共催：シスメックス株式会社）

司会：宮本 比呂志（佐賀大学医学部 病因病態科学講座微生物学分野）

迅速診断研究会の今後の発展を目指して ～臨床検査技師・企業学術担当・衛生研究所職員の立場から～

1. *Clostridium difficile* を用いた Matrix Assisted Laser Desorption/Ionization-Time of Flight Mass Spectrometer 2 機種 の同定性能と疫学解析の評価

九州大学病院検査部

清祐 麻紀子

2. MALDI-TOF MS を用いた MRSA クローン 識別のための タイピング法の開発

バックマン・コールター株式会社 ダイアグノスティックス マイクロバイオロジー事業部

上田 修

3. 培養法、アメーバ共培養法、およびリアルタイム PCR 法を用いた浴槽水のレジオネラ汚染調査

大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部 生活環境課

枝川 亜希子

司会：金光 敬二（福島県立医科大学 感染制御学講座）

レプトスピラ感染症の検査法の現状

産業医科大学医学部 微生物学講座

齋藤 光正

（共催：大正富山医薬品株式会社）

司会：小松 方（天理医療大学 医療学部臨床検査学科）

5. MALDI-TOF MS 法による（血液培養陽性ボトル検体からの）菌同定前処理キットの検討（MALDI Sepcityper Kit と rapid BAC pro の比較）

宗教法人 淀川キリスト教病院 臨床検査課 細菌検査室

山下 剛永

6. MALDI-TOF MS による *Haemophilus haemolyticus* の同定検討

- 1) 信州大学大学院医学系研究科 保健学専攻
2) 群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座
3) 信州大学医学部附属病院 臨床検査部

○深津 裕雅¹⁾、松本 竹久^{2),3)}、春日 恵理子³⁾、名取 達矢³⁾、竹原 健太³⁾、
三村 佳奈恵³⁾、菅野 光俊³⁾、本田 孝行³⁾

一般演題 7・8

17:00~17:20

司会：長沢 光章 (国際医療福祉大学 成田保健医療学部)

7. Drug Susceptibility Testing Microfluidic device (DSTM) 法を用いた ESBL の迅速検査法の検討

- 1) (株) ビー・エム・エル総合研究所、2) (株) フコク マイクロ TAS 開発グループ、3) 大阪大学産業科学研究所

○小川 美保¹⁾、坂田 竜二¹⁾、市村 禎宏¹⁾、霜島 正浩¹⁾、御子柴 孝晃²⁾、松本 佳巳^{2),3)}

8. マイクロ流路チップ (DSTM) と顕微鏡による迅速感受性測定法を用いた ESBL 迅速検出法

- 1) 大阪大学 産業科学研究所、2) 株式会社フコク マイクロ TAS 開発グループ

○松本 佳巳^{1),2)}、御子柴 孝晃²⁾、西野 邦彦¹⁾

一般演題 9・10・11

17:20~17:50

司会：西山 宏幸 (日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部)

9. PCR 法を用いた血液培養ボトルからの *mecA* 遺伝子の検出

西神戸医療センター臨床検査技術部

○池町 真実、國寶 香織、山本 剛、前田 義久

10. 全自動遺伝子解析装置 Verigene system による

迅速・簡便な *Clostridium difficile* トキシン検出法の有用性

- 1) 長崎大学病院 検査部 2) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野

○岩永 祐季¹⁾ 赤松 紀彦¹⁾ 松田 淳一¹⁾ 塚本 千絵¹⁾ 川元 康嗣¹⁾
村田 美香¹⁾ 碓 比呂子¹⁾ 小佐井 康介¹⁾ 森永 芳智^{1,2)} 柳原 克紀^{1,2)}

11. 全自動遺伝子解析装置 (GeneXpert) を用いた2015/2016シーズンのノロウイルス遺伝子型の解析

福島県立医科大学 感染制御学講座

○仲村 究、三浦 里織、金光 敬二

閉会の辞

17:50~

臨床微生物迅速診断研究会総会開催記録

	総 会 長	開催地・会期
第1回	上野 一恵 (岐阜大学医学部嫌気性菌実験施設)	神 戸 昭和63年7月18日
第2回	本田 一陽 (東北大学医学部臨床検査診断医学講座)	郡 山 平成元年4月28日
第3回	岡田 淳 (関東通信病院臨床検査科)	東 京 平成2年5月2日
第4回	古田 格 (近畿大学医学部臨床病理学講座)	大 阪 平成3年4月20日
第5回	山根 誠久 (琉球大学医学部臨床検査医学)	熊 本 平成4年4月24日
第6回	中村 良子 (昭和大学藤が丘病院臨床病理科)	横 浜 平成5年4月17日
第7回	渡邊 邦友 (岐阜大学医学部嫌気性菌実験施設)	松 山 平成6年5月17日
第8回	一山 智 (京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学)	名古屋 平成7年6月3日
第9回	浅利 誠志 (大阪大学医学部附属病院臨床検査部)	大 阪 平成8年6月15日
第10回	中山 一誠 (日本大学医学部第3外科)	東 京 平成9年6月6日
第11回	長沢 光章 (防衛医科大学大学校病院検査部)	さいたま 平成10年6月13・14日
第12回	村瀬 光春 (愛媛大学医学部附属病院検査部)	松 山 平成11年6月19・20日
第13回	山中喜代治 (大手前病院臨床検査部)	大 阪 平成12年6月17日・18日
第14回	山根 誠久 (琉球大学医学部臨床検査医学)	福 岡 平成13年6月24日
第15回	岡田 淳 (関東通信病院臨床検査科)	東 京 平成14年6月15・16日
第16回	渡邊 邦友 (岐阜大学生命科学総合実験センター)	岐 阜 平成15年6月14日
第17回	古田 格 (近畿大学医学部臨床検査医学)	大 阪 平成16年7月3日
第18回	川上 由行 (信州大学医学部保健学科病因・病態検査学講座)	松 本 平成17年6月11日
第19回	村瀬 光春 (愛媛大学医学部附属病院検査部)	松 山 平成18年6月17日
第20回	藤田 直久 (京都府立医科大学臨床分子病態・検査医学教室)	京 都 平成19年7月6・7日
第21回	山住 俊晃 (医療法人育和会育和会記念病院)	大 阪 平成20年7月5日
第22回	永沢 善三 (佐賀大学医学部附属病院検査部)	佐 賀 平成21年7月4日
第23回	大楠 清文 (岐阜大学大学院医学系研究科病原体制御学分野)	岐 阜 平成22年6月26日
第24回	長沢 光章 (東北大学病院診療技術部)	仙 台 平成24年5月19日
第25回	西山 宏幸 (駿河台日本大学病院臨床検査部)	東 京 平成25年7月6日
第26回	黒川 幸徳 (川崎医療短期大学臨床検査科)	岡 山 平成26年7月26日
第27回	飯沼 由嗣 (金沢医科大学臨床感染症学)	石 川 平成27年7月4日
第28回	宮本比呂志 (佐賀大学医学部病因病態科学講座微生物学分野)	福 岡 平成28年7月2日